

土地改良事業計画概要書

県営中家・池平地区 区画整理

(経営体育成基盤整備「農地中間管理機構関連型」) 事業

第1回計画変更

目 次

第1章	目 的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第3章	基 本 計 画	5
第4章	工事又は管理の要領	7
第5章	換地計画の要領	9
第6章	費用の概算	14
第7章	効 用	15
第8章	他の事業との関係	16
第9章	計画概要図	16

第 1 章 目 的

本地区は、新潟県魚沼市の北西部に位置し、主に一級河川羽根側右岸に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。地形は主に東から傾斜しており平均地形勾配は1/46となっている。

耕地は7a程度の小区画であり、農道幅員も全て3.0m未満であるため耕作労働条件が非常に悪い。地区内の水路は土水路が多く用水と排水の兼用利用をしており、通水断面確保のための維持管理や、水配分が容易でないため水管理に係る労力が大きい。排水路についても土水路の用排兼用水路であり、維持管理に苦慮している。また水路の渠底も浅いため暗渠排水等の対策が講ぜず、排水不良であることが園芸作物導入の支障となっている。

このため、本事業における区画整理による大区画化や暗渠排水の整備をすることで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第 2 章 地域の所在及び現況

第 1 節 地域及び地積

1. 地 域

事 業 名	地 域
区画整理	新潟県魚沼市 中家、中家新田、池平、池平新田、一日市

2. 地 積

(令和7年3月現在)
(令和3年8月現在)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	道水路 (ha)	山林原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理	魚沼市	93.3 94.1	1.3 1.3	12.1 12.2	4.3 4.2	1.5 1.5	112.5 113.3	
	計	93.3 94.1	1.3 1.3	12.1 12.2	4.3 4.2	1.5 1.5	112.5 113.3	
合 計		93.3 94.1	1.3 1.3	12.1 12.2	4.3 4.2	1.5 1.5	112.5 113.3	

第2節 地 形

本地区の標高は、最高175m、最低115mとなっており、地形勾配は平均1/46の勾配となっている。

第3節 地質及び土壌

本地区の土壌はD30（強グライ土壌－強粘土還元型）及びD37（強グライ土壌－砂礫土湧水型）である。

第4節 気象

1. 一般気象

観測所名	小出観測所	かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	計 又は平均	備 考
観測期間	1976～2020年				
平均	気温 (°C)	22.0 °C	5.5 °C	12.4 °C	2011(H23)～2020(R2)年
降水量	平均 (mm)	929.2 mm	1,825.9 mm	2,755.1 mm	〃
	基準年 (mm)	726.0 mm	1,484.0 mm	2,210.0 mm	1989(H1)年
降水日数	平均 (日)	64 日	141 日	205 日	2011(H23)～2020(R2)年
	基準年 (日)	71 日	140 日	211 日	1989(H1)年
根 雪 期 間		12月20日 ～ 4月15日		117 日間	
無 霜 期 間		4月10日 ～ 11月20日		219 日間	
最 多 風 向		西	最大風速 (風向)	12.0 m/s (西)	最多風向発生時期 2、5～9、11月 最大風速発生年月日 1998年9月22日

2. 特殊気象

観測所名	小出観測所	第1位			第2位			第3位			
		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
1976～2020年											
	最大日雨量 (mm)	234.0	2005.6.28	1/100	189.0	1978.6.27	1/40	188.0	1984.8.30	1/40	
	最大時間雨量 (mm)	60.5	2013.6.8	—	60.5	2011.7.28	—	58.0	1998.7.29	—	
	最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	最大連続雨量 (mm)	807.0	1968	1/50	741.8	1956	1/40	724.0	1981	1/40	
	最大連続干天日数 (日)	105	1971	1/500以上	98	1972	1/500以上	92	1973	1/500以上	
		第4位			第5位			備 考			
		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率				
		178.5	2011.7.28	1/30	176.0	2017.7.18	1/25				気象庁統計データ
		55.0	1978.8.7	—	52.5	2017.7.18	—				〃
		—	—	—	—	—	—				〃
		567.0	2005	1/10	550.0	1983	1/10				水文統計資料(第13版)
		90	1974	1/500以上	90	1975	1/500以上	〃			

3. 海象 該当なし

第5節 水利状況及び営農状況

1. 水利状況

用水は、一級河川・羽根川を主な用水源とし、一部、渓流水で地区内をかんがいしている。
排水は、地区内の水路を介し、一級河川・羽根川へ自然排水される。

2. 営農状況

農業生産は市場評価の高い「魚沼米」を主とした水稻栽培が大半を占め、一部で自家消費用の野菜を生産しているが生産基盤の状況が悪く、多大な労力を費やしている。

併せて農業従事者の高齢化により後継者不足の問題が生じ、担い手の確保が難しくなっている状況である。

第6節 地域環境の概況

・ 植物・動物等生態系の概況

令和2年6月16日に行われた『生き物調査』で地区内において、魚類（ドジョウ、スナヤツメ、キタノメダカ）、両生類（ヤマアカガエル、ツチガエル、アマガエル、モリアオガエル）、爬虫類（シマヘビ、アオダイショウ）、甲殻類（サワガニ、ヨコエビ）、貝類（カワナナ、オオタニシ、マルタニシ、サカマキガイ（外来種））、昆虫類（ガムシ、ミズムシ）等、河川、水路を生息・繁殖環境とする生き物が多く確認された。

またこの他、地元役員への聞き取りによればトノサマガエル、モリアオガエル、ヘイケボタル、ゲンジボタルも生息しているとの事であった。

・ その他、地域環境の概況

本地区は、魚沼市農村環境計画において『定住環境創造エリア』として「農業生産団地ゾーン」にゾーニングされている。また、農村集落とほ場と山地が隣接しており、自然環境が豊かな地域である。

第 3 章 基本計画

第 1 節 要 旨

90.1ha

本計画は、区画整理90.9haを施行し、労働生産性の向上を目指し、農地の集積・経営規模の拡大をするとともに高収益作物の栽培や機械の大型化による低コスト型農業を確立し、農業経営の安定化の実現に資する区画整備を実施するものである。

区画割りは、地区の形状および将来の営農体系等を勘案して、40a区画を基本とし整備を行う。道路計画は支線道路として全幅5.0m（有効幅員4.0m）の敷砂利舗装を基本とする。用水計画は、水管理の合理化、水路の維持管理労力の節減を図るために自然圧パイプライン方式を基本とし、一部、渓流水でかんがいを行っている区域は開水路方式とする。排水計画は地区外となる山地や宅地等からの流入のない区域は管排水路方式で計画し、地区外からの流入がある区域は開水路方式で計画する。また、暗渠排水を68.6haに実施する。

第 2 節 一般計画

変更後：赤

変更前：黒

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理						計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	道 水 路 (ha)	用非 地農 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
区画整理	89.7 90.5	0.4 0.4	20.9 20.9	1.5 1.5	—	112.5 113.3	112.5 113.3	
計	89.7 90.5	0.4 0.4	20.9 20.9	1.5 1.5	—	112.5 113.3	112.5 113.3	

第3節 環境配慮計画

目指す地域環境の姿

- ・ 地域の将来像 本地域はすべての市民が、自然・風土・文化にふれながら「健やかな暮らし」ができる定住環境整備を進める。
動植物の生息生育環境に配慮した農業生産基盤の整備と環境保全型農業の実施、農地や農業用排水施設・農道施設の維持管理・保全活動を進める。
- ・ 環境配慮の進め方 本地区の生態系が豊かである地区北側の斜面から差し水がある区域の一部を環境配慮区域として残す。
- ・ 維持管理体制 農業者及び多面的機能支払い交付金組織が主体となり日常管理を行う。

第 4 章 工事又は管理の要領

第 1 節 工事の要領

変更後：赤

変更前：黒

事業名	工 事 内 容		数 量	備 考
区画整理	整 地 工		90.1 90.9 ha	
	道 路 工	幹 線	— km	
		支 線 他	17.5 km	
		連 絡 道	— km	
	用 水 路 工	幹 線	— km	
		支 線 他	17.5 km	
		用 水 施 設	2.0 箇所	FP：2 箇所
	排 水 路 工	幹 線	— km	
		支 線 他	20.0 km	
	暗 渠 排 水 工		68.6 ha	
	客 土 工		— ha	

第2節 管理の要領

1. 管理者

魚沼市土地改良区

2. 管理すべき施設の種類の等

本事業によって造成された土地改良施設（農道、用排水路、ファームポンド）

3. 管理方法に関する基本的事項

施設の管理は、魚沼市土地改良区に定める維持管理計画書により行う。

第 5 章 換地計画の要領

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業を契機に、農用地等の集団化の向上はもとより、地域農業農村の発展に資するよう換地計画を樹立する。特に同計画をもとに地権者との合意形成を図り、利用権設定等を換地と一体的に行い、望ましい経営体へ円滑に農地利用集積されるよう土地利用調整を行う。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

変更後：赤
変更前：黒

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全換地区	新潟県魚沼市 中家、中家新田、池平、池平新田、一日市	112.5 113.3

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。また、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

変更後：赤
変更前：黒

単位：ha

用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地			一 般 国 公 用 地	総 合 計					
	田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地域に含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創 設 合 計	特定用途地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国 県			市 町 村 他	合 計			
					土地改良施設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計		宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計									
																												計	計	計
前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後					
全換地区	従前の土地	93.3	1.3	0.1	0.1	0.4	4.1	4.5	99.3	-	-	-	-	99.3	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	11.7	12.1	-	112.5
	換地	94.1	1.3	-	0.1	0.4	4.1	4.5	100.0	-	-	-	-	100.0	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	11.8	12.2	-	113.3
合計	従前の土地	89.7	0.4	-	-	0.4	-	0.4	90.5	0.4	-	0.4	-	90.9	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	20.1	20.5	-	112.5
	換地	90.5	0.4	-	-	0.4	-	0.4	91.3	0.4	-	0.4	-	91.7	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	20.1	20.5	-	113.3
合計	従前の土地	93.3	1.3	0.1	0.1	0.4	4.1	4.5	99.3	-	-	-	-	99.3	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	11.7	12.1	-	112.5
	換地	94.1	1.3	-	0.1	0.4	4.1	4.5	100.0	-	-	-	-	100.0	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	(65㎡)	0.4	11.8	12.2	-	113.3

3. 農用地集団化の方針

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当りの目標団地数	区画畦畔の取扱
全換地区	<p>1. 集落別集団化 集落毎の出入作を解消し、集落単位の管理が容易となるよう、集落別の集団化を進める。</p> <p>2. 地目別集団化 水田の中に混在する畑は、集落別集団化された中でその団地を設け集団化を図る。</p> <p>3. 営農グループ別集団化 担い手農家等の育成及び確保を図るとともにこれらを団地化して農用地の面的集積を積極的に進める。</p>	<p>各人の従前の土地条件（区画形状・日照等）を基準に、意向調査等の結果を踏まえて位置を選定し、集団化を図る。</p>	<p>各農家の農地はできるだけ大規模に集団化を図るものとし、1戸当たりの団地数は、概ね4～5団地を目標とする。</p>	<p>田については、固定畦畔。畑については、配分面積による境界設定。</p>

4. 非農用地の換地方法

区分 換地区分	用途	非農用地区域 の 位置の概要	面積 (㎡)	換地手法	換地取得者	その他
全換地区	養鯉池	魚沼市中家	11,000	特定用途用地 換地	従前の所有者	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分予定年度	備考
全換地区	令和6年度 ～ 令和9年度	令和12年度	令和12年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区内の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分ができるものとする。

第 6 章 費用の概算

変更後：赤
変更前：黒

(単位：千円)

事業名等 区分	区画整理	合計	備 考
主 要 工 事	4,052,900 3,851,400	4,052,900 3,851,400	内地方事務費 159,300 119,210 内工事雑費 65,600 64,190
附 帯 工 事	—	—	

(単位：千円)

事業名等	区分	工 事 費				工 事 雑 費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負担率	62.5 %	27.5 %	10.0 %	0.0 %	%	100 %	%	%	%	100 %	%	%
	負担金額	2,392,500 2,292,500	1,052,700 1,008,700	382,800 366,800	0		65,600 64,190				159,300 119,210		
合計	負担率	62.5 %	27.5 %	10.0 %	0.0 %	%	100 %	%	%	%	100 %	%	%
	負担金額	2,392,500 2,292,500	1,052,700 1,008,700	382,800 366,800	0		65,600 64,190				159,300 119,210		

第 7 章 効 用

変更後：赤

変更前：黒

事業名等	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
区 画 整 理	作物生産効果	46,984	20,338	総費用（現在価値化） = 3,574,368 3,606,105 千円
		47,401	20,519	
	営農経費節減効果	160,699	169,991	総便益（現在価値化） = 4,029,156 4,064,931 千円
		162,126	171,500	
	維持管理費節減効果	△ 783	△ 564	総費用総便益比 = $\frac{4,029,156}{4,064,931} = 1.12$ $\frac{3,574,368}{3,606,105}$ 増加所得償還率 = $\frac{-}{-} = -\%$
		△ 790	△ 569	
	耕作放棄防止効果	0	-	
		0	-	
	農業労働環境改善効果	14,687	-	
	14,817	-		
地域用水効果	-	-		
	-	-		
景観・環境保全効果	1,437	-		
	1,450	-		
国産農産物安定供給効果	8,163	-		
	8,235	-		
	計	231,187	189,765	
		233,239	191,450	

第 8 章 他の事業との関係

該当なし

第 9 章 計画概要図

別紙計画概要図のとおり

令和4年度着工
経営体育成基盤整備「農地中間機構関連型」事業

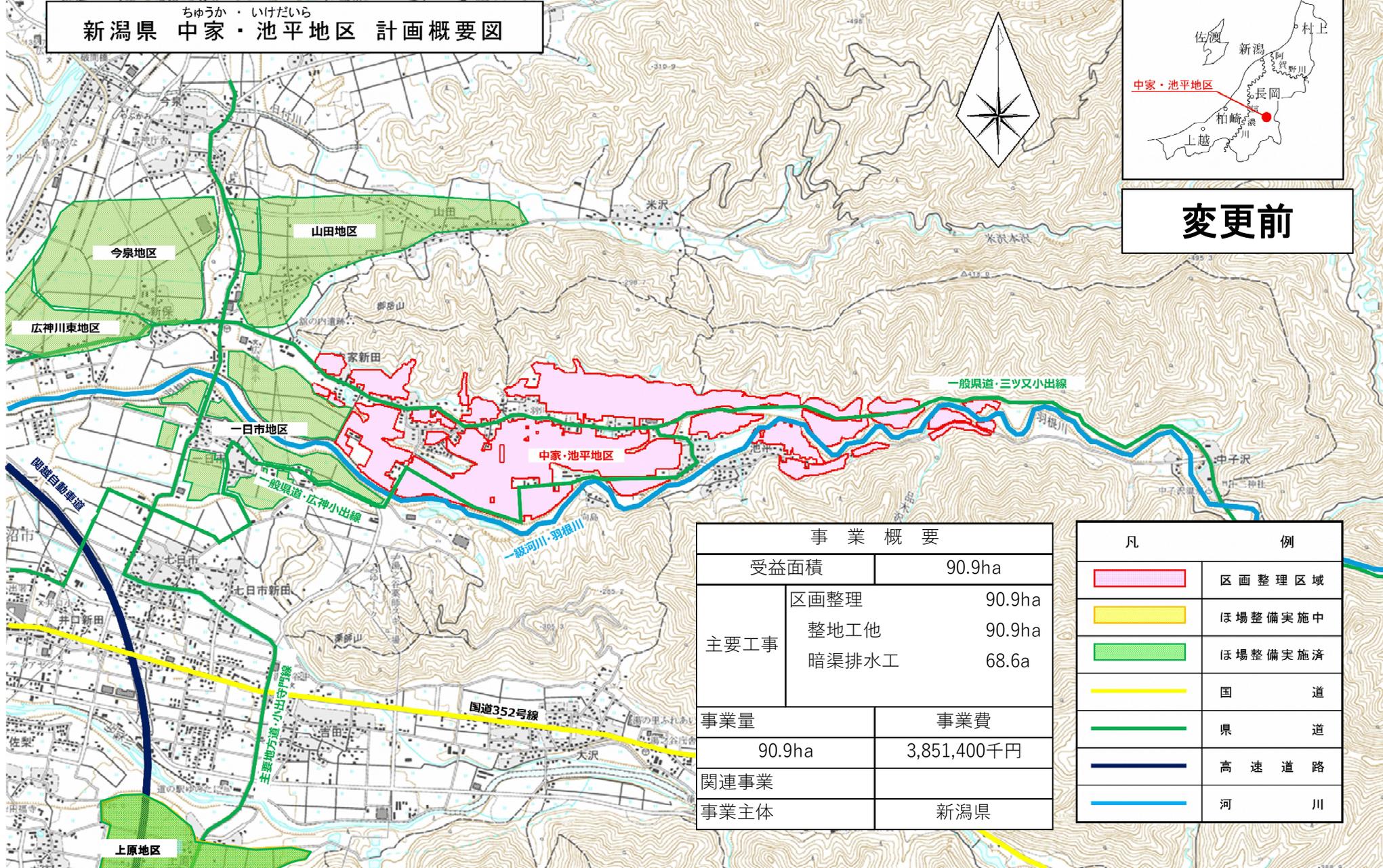
縮尺 1/25,000

県内位置図



変更前

ちゅうか・いけだいら
新潟県 中家・池平地区 計画概要図



事業概要	
受益面積	90.9ha
主要工事	区画整理 90.9ha
	整地工他 90.9ha
	暗渠排水工 68.6a
事業量	事業費
90.9ha	3,851,400千円
関連事業	
事業主体	新潟県

凡	例
	区画整理区域
	ほ場整備実施中
	ほ場整備実施済
	国 道
	県 道
	高 速 道 路
	河 川

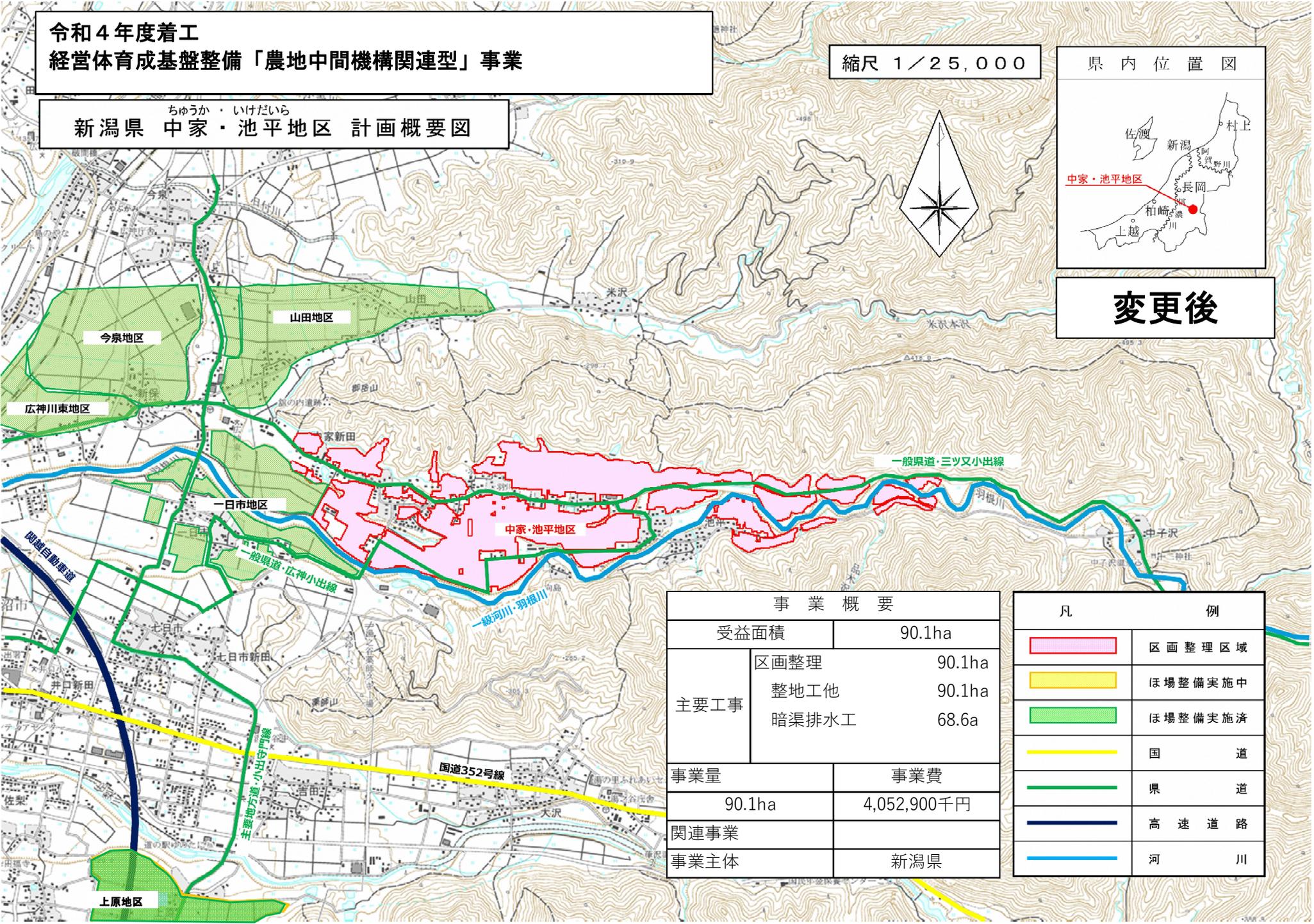
令和4年度着工
経営体育成基盤整備「農地中間機構関連型」事業

縮尺 1/25,000



新潟県 中家・池平地区 計画概要図

変更後



事業概要	
受益面積	90.1ha
主要工事	区画整理 90.1ha
	整地工他 90.1ha
	暗渠排水工 68.6a
事業量	事業費
90.1ha	4,052,900千円
関連事業	
事業主体	新潟県

凡	例
	区画整理区域
	ほ場整備実施中
	ほ場整備実施済
	国 道
	県 道
	高 速 道 路
	河 川